



ふれあい 放水路

2004
(平成16年)
第124号
7月



水辺の生き物見つけたよ 神戸川で生物調査

六月三十日、神戸川の馬木新大橋上流で水生生物調査が行われました。現在、総合学習の一環で、塩冶小学校四年生の児童が斐伊川・神戸川・高瀬川に分かれ、それぞれの川について学んでいるようです。

神戸川へは約四十人が参加し、皆ズボンをまくり上げ、片手にアミを持った格好で膝丈くらいの川へ入り、早速、水辺の生き物を探し始めました。

子供たちは、水中の石を裏返してみたり、すくったアミの中を覗き込んだりして生き物を見つけては、生物表と照らし合わせながら熱心に観察していました。また、調査した生物はそれぞれが持参したペットボトルやカゴなどに入れて持ち帰っていました。

今回の調査は、子供たちに水生生物や川とふれあってもらう良い機会となりました。これを機にもっと川に親んでもらえたらと思います。

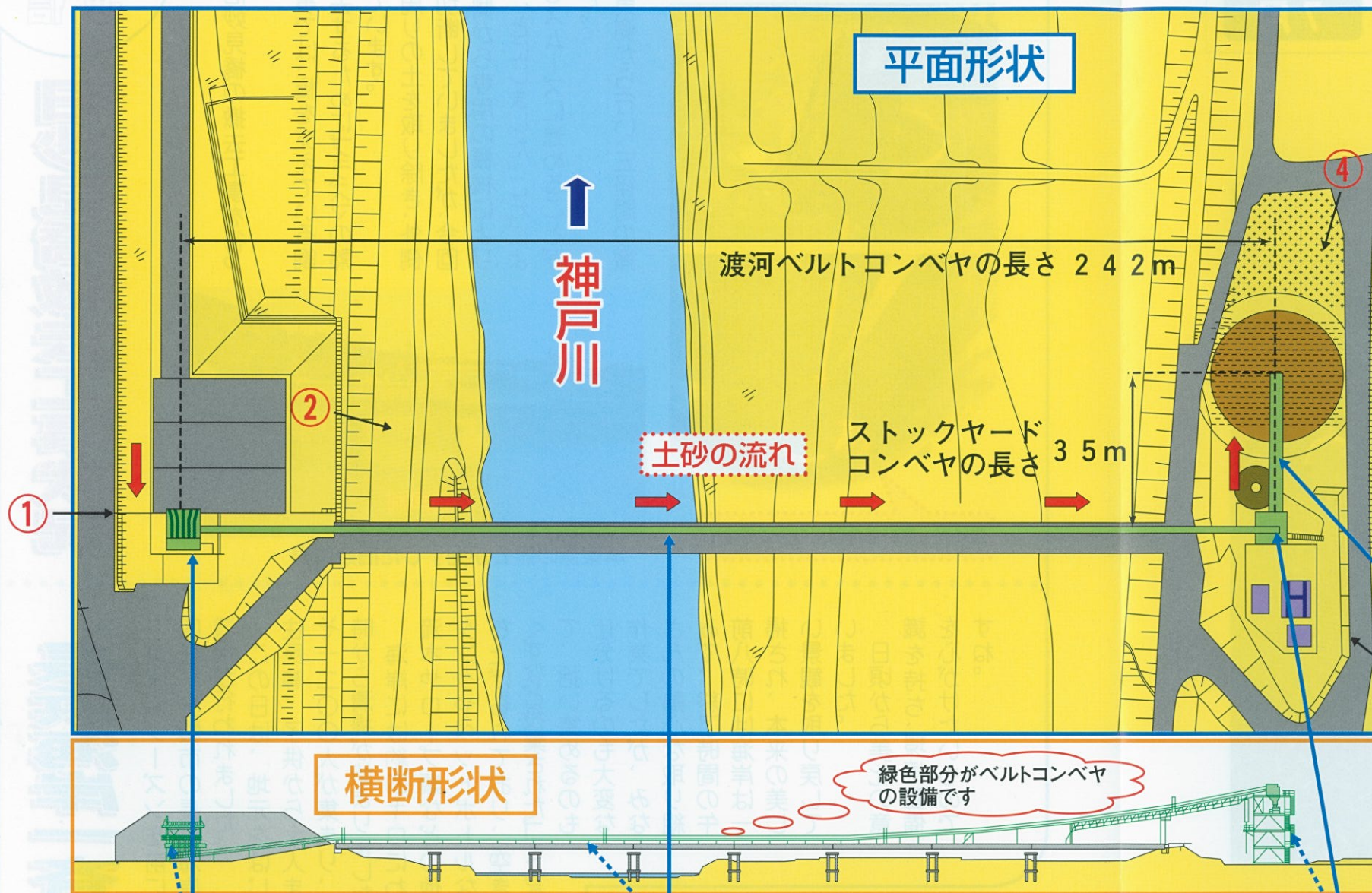
土砂運搬設備(ベルトコンベヤ)について

土砂運搬設備は、神戸川の拡幅部左岸より発生する土砂をベルトコンベヤにより右岸に運搬する施設です。

■ベルトコンベヤ全景



ベルトコンベヤは、1時間当たり930m³(25mプール約2杯分)の土砂を運搬することができます。



土砂投入ホッパー



① 大型ダンプトラックからの土砂を受け入れ格納する設備です。

渡河ベルトコンベヤ



② 投入ホッパーから搬出された土砂を対岸まで運び出す設備です。

乗継架台



③ ベルトコンベヤから運び出された土砂をストックヤードコンベヤに移すための中継設備です。

ストックヤードコンベヤ



④ 土砂を最終的にストックヤードに運び出す上・下可動可能な設備です。

ふれあい
放水路
通信

旧妙見橋撤去工事状況

現在、旧妙見橋の撤去工事を行っています。

この工事では、橋を支えている鋼管杭を撤去するためにプラズマの熱を利用しています。

従来は周りの土を取り除き、外側から杭を切断していましたが、今回は杭の内側から専用の機械により切断することにしました。これにより、工事もスムーズに進めることができました。

撤去は東側から行い、五径間の撤去が完了して

います。十月からは西側の撤去を進めていきます。



赤く光っているのがプラズマです！



神戸川

▲東側の撤去が完了した旧妙見橋

長浜海岸一斉清掃

海水浴シーズンを前に、七月四日、出雲市の長浜海岸で一斉清掃が行われました。

この日は、地元をはじめ近隣住民等、子供から大人までおよそ二二〇〇人が集まり、早朝六時から清掃が始まりました。

海岸には約四キロにわたって流木やロープ類などの他、ポリタンクやペットボトルなどが打ち上げられており、空き缶や紙くすなど投棄されたゴミも色々あって、拾い集めるのも大変な作業でしたが、みなさんの熱心な取り組みで、終了時間の午前八時には海岸は一掃され、本来の美しい景観を取り戻していました。

日頃から美化の意識を持ち、環境整備を心がけたいものです。



**国土交通省中国地方整備局
出雲河川事務所**

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

メールアドレス E-mail: izumo@info.cgr.mlit.go.jp
ホームページ http://www.cgr.mlit.go.jp/izumo/homepage.htm

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当
放水路工事業 事業対策官

